



東証: 4502

TAK
LISTED
NYSE

成長と株主還元への コミットメント

梶井 靖

R&D 日本リージョン ヘッド

岩室 文子

グローバルファイナンス IR ディレクター

個人投資家向けイベント

2024年2月22日



Better Health, Brighter Future

本資料は、株主、投資家及びアナリストの皆様へ当社の経営又は事業に関する情報を提供することのみを目的として作成及び配布されるものであって、特定の医薬品等の購入・処方等を促すためのものではありません。
本資料は、医療関係者、患者さん、その他上記対象者以外の方を対象にしておらず、上記対象者以外の方による利用、及び、上記目的以外の目的での利用を禁止いたします。

重要な注意事項



本注意事項において、「プレゼンテーション（presentation）」とは、本プレゼンテーションに関して武田薬品工業株式会社（以下、「**武田薬品**」）によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使用されていることがあります。同様に、「当社（we、us及びour）」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本プレゼンテーションに記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする（targets）」、「計画する（plans）」、「信じる（believes）」、「望む（hopes）」、「継続する（continues）」、「期待する（expects）」、「めざす（aims）」、「意図する（intends）」、「確実にする（ensures）」、「だろう（will）」、「かもしれない（may）」、「すべきであろう（should）」、「であろう（would）」、「かもしれない（could）」、「予想される（anticipates）」、「見込む（estimates）」、「予想する（projects）」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、武田薬品が事業を行う国の政府を含む武田薬品とその顧客及び供給業者又は武田薬品の事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI（買収後の統合活動）の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社による省エネルギーへの取り組み及び将来の再生可能エネルギー又は低炭素エネルギー技術の発展による当社の温室効果ガス排出量の削減の程度、武田薬品のウェブサイト（<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings-and-security-reports/>）又はwww.sec.govにおいて閲覧可能な米国証券取引委員会に提出したForm 20-Fによる最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

財務情報及び国際会計基準に準拠しない財務指標

武田薬品の財務諸表は、国際会計基準（以下、「IFRS」）に基づいて作成されております。本プレゼンテーションには、Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益、Core EPS、CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減、純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フローのように、IFRSに準拠しない財務指標が含まれています。当社経営陣は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本プレゼンテーションに含まれるIFRSに準拠しない財務指標に基づいて行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、最も良く対応するIFRS財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRSに準拠しない財務指標を提供することで、当社経営陣は、投資家の皆様に対し、武田薬品の経営状況及びCore業績の更なる分析のための為替変動の影響を含む付加的な情報を提供したいと考えております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません（IFRSに準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります）。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、当社の2023年度第3四半期決算説明会プレゼンテーション資料の巻末に掲載した財務補足情報にて、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申し上げます。

為替

本プレゼンテーションでは、特に断りのない限り、利用者の便宜のために、日本円で表示された一部の金額をニューヨーク連邦準備銀行が2023年12月29日に認定した正午時点の買値レートである1米ドル=140.92円で米ドルに換算しています。これらの便宜的な換算に使用された買値レート及び換算方法は、当社の連結財務諸表に使用されるIFRSの換算レート及び換算方法とは異なります。これらの便宜的な換算は、関連する日本円の金額が当該買値レート又は他のレートで米ドルに換算されうることを示すものではありません。

医療情報

- 2 本プレゼンテーションには、製品に関する情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

日本と米国に強固な基盤を持つグローバルなバイオ医薬品企業



グローバル本社

東京 日本橋

グローバルハブ

**米国 マサチューセッツ州
ボストン地区 ケンブリッジ**

約30 臨床試験段階にある
新規医薬品候補

グローバル拠点

約80 の国・地域

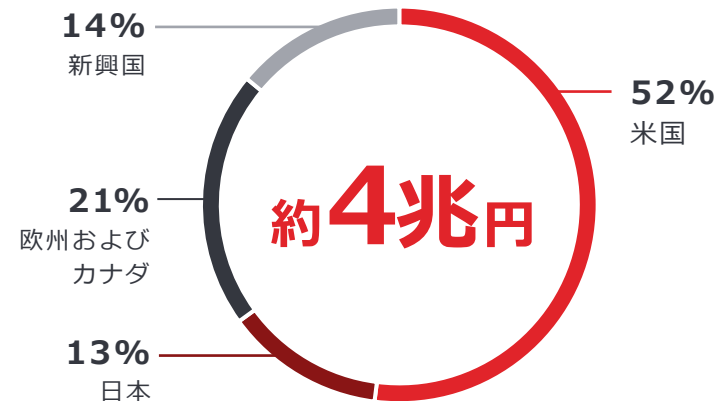
25+ 製造拠点

3 研究拠点

200+ 積極的な
パートナーシップ

革新的なアイデアを実現するために

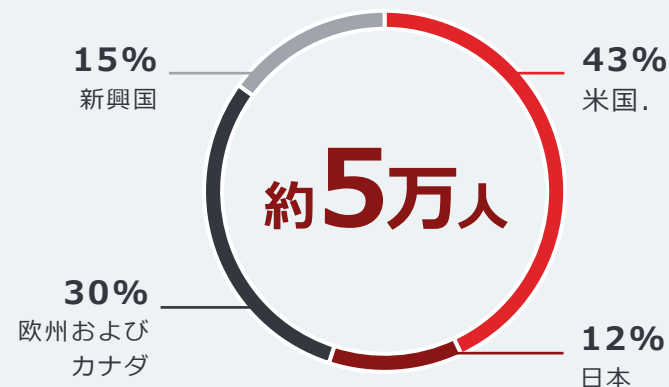
2022年度売上収益



2023年3月31日時点

39 力国

および4地域での
TOP EMPLOYER® 認定



2023年6月時点（一部データを除く）

創業

1781年

大阪 道修町

従業員

タケダの歴史 1980年～現在



FOR BUSINESS

1980年代～90年代

EXPANSION OF INTERNATIONAL BUSINESS

4つの国際戦略製品
「リュープロレリン」、
「ランソプラゾール」、
「カンデサルタン」、
「ピオグリタゾン」により
グローバル事業の拡大が加速

2008

MILLENNIUM PHARMACEUTICALS

米国のバイオベンチャー
であるミレニアム社を買
収し、がん領域を強化

2011

NYCOMED ACQUISITION

新興国に強い販路を持つ
ナイコメッド社を統合し、
事業基盤を70カ国以上に拡大

2014

VEDOLIZUMAB

潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬
「ベドリズマブ」を米国および
欧州で発売

2015

IXAZOMIB

多発性骨髄腫治療薬
「イクキサゾミブ」米国で発売

2018

NEW YORK STOCK EXCHANGE LISTING

ニューヨーク株式市場への上場により、
ニューヨーク証券取引所と東京証券取引所の
双方に上場されている唯一の医薬品企業に
SHONAN HEALTH INNOVATION PARK
湘南にヘルスイノベーションを加速する
iPark をグランドオープン

TAKEDA GLOBAL HEADQUARTERS

武田グローバル本社をグランドオープン、
多様性に富む従業員がオープンにつながり、
ともにイノベーションに取り組む拠点へ

2019

SHIRE ACQUISITION

シャイアー社の買収により、
事業拠点は約80の国・地域
に拡大し、グローバルな研究
開発型バイオ医薬品の
リーディングカンパニーへ



FOR SOCIETY

2009

UNITED NATIONS GLOBAL COMPACT

「国連グローバル・
コンパクト」に参加

2010

TAKEDA INITIATIVE

アフリカの保健医療人材の育
成を支援する
「タケダ・イニシアティブ」
を開始

2016

ACCESS TO MEDICINES

医薬品アクセスに関する取り組みを開発国を
中心に開始

GLOBAL CSR PROGRAM

疾病予防に重点を置いた支援活動「グローバ
ルCSRプログラム」を開始。

2019

TAKEDA INITIATIVE 2

母子を対象にHIV・結核・
マラリアの対策を支援する
「タケダ・イニシアティブ2」
を開始

世界中の人々の健康と、 輝かしい未来に貢献する



私たちはこの約束を胸に、
革新的な医薬品を創出し続けます。

PATIENT

すべての患者さんのために

- 私たちは、倫理観をもってサイエンスの革新性を追求します。そして、人々の暮らしを豊かにする医薬品の創出に取り組みます。
- 私たちの医薬品を、より多くの人々に迅速にお届けします

PEOPLE

ともに働く仲間のために

- 私たちは、理想的な働き方を実現します。

PLANET

いのちを育む地球のために

- 私たちは、自然環境の保全に寄与します

データとデジタルの力で、イノベーションを起こします

- データを活用して導き出された成果をもとに、もっとも信頼されるバイオ医薬品企業として、これからも変革し続けます。

私たちが大切にしている価値観であるタケダイズムとは、まず**誠実**であること。そして、**公正・正直・不屈**の精神で支えられています。

私たちはこれを道しるべとしながら、

1. 患者さんに寄り添い (**Patient**)
2. 人々と信頼関係を築き (**Trust**)
3. 社会的評価を向上させ (**Reputation**)
4. 事業を発展させる (**Business**)

を日々の行動指針とします。

タケダ・エグゼクティブ・チーム



クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO

アンドリュー・ブランブ
取締役、
リサーチ&デベロップメント
プレジデント

コスタ・サルウコス
取締役、チーフ フィナンシャル
オフィサー

天川 晶子
コーポレート ストラテジー
オフィサー
CEOチーフ オブ スタッフ

エレイン・シャノン
グローバル クオリティ
オフィサー

ガブリエレ・リッチ
チーフ データ&テクノロジー
オフィサー

**ジャイルズ・
プラットフォード**
PDTビジネスユニット
プレジデント

国籍
10カ国

年齢
30-60代

女性比率
47%



ジュリー・キム
U.S. ビジネスユニット
プレジデント

ローレン・デュプレイ
チーフ HR オフィサー

マルチェロ・アゴスティ
グローバル
ビジネスデベロップメント
オフィサー

古田 未来乃
ジャパンファーマ
ビジネスユニット
プレジデント

ムワナ・ルゴゴ
チーフ エシックス &
コンプライアンス
オフィサー

ラモナ・セケイラ
グローバル ポートフォリオ
ディビジョン
プレジデント



大藪 貴子
チーフ グローバル コーポレート
アフェアーズ&サステナビリティ
オフィサー

テレサ・ビテッティ
グローバルオンコロジー
ビジネスユニット
プレジデント

トーマス・ウォスニフスキー
グローバル
マニュファクチャリング &
サプライ オフィサー

中川 仁敬
グローバル ジェネラル
カウンセル

**タケダの事業と
革新的な医薬品創出の
取り組み**



新薬が上市されるまでのプロセス



新薬

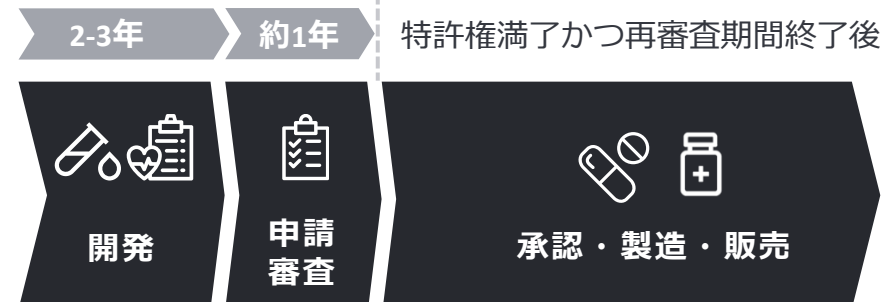
特許権満了



医薬品の
研究開発費

〔新薬〕数百億～数千億円
〔ジェネリック医薬品〕数億円

ジェネリック医薬品



創薬科学の進歩がもたらすモダリティの多様化



モダリティ（治療手法）



低分子医薬品



抗体医薬



中分子医薬品



細胞療法
遺伝子療法

膨大なトライ＆エラー

データ・デジタル&テクノロジーを活用した効率的な創薬

大規模患者集団を想定した
薬剤

患者さんひとりひとりに合わせた治療法



ワールドワイドな創薬エコシステムを駆使して世界の患者さんに遅延なくイノベーションを届ける研究開発体制



アイデアの創出

新薬候補の探索

前臨床試験

人での治験

承認販売



日本発の
新薬候補



グローバルハブ
からの新薬候補

武田湘南 / iPark *



武田ボストン



武田サンディエゴ



Europe Regional Center



チューリッヒ



ウィーン



武田ボストン



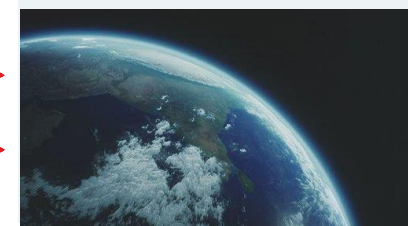
TDC** -Japan
/ 大阪



TDC** -Asia /
上海

国際臨床試験

米国およびグローバル



日本



中国・アジア



患者さん中心でサイエンス・ファーストのR&Dエンジンを持つタケダ



約 30

臨床試験段階にある
新規医薬品候補

新規作用機序品目で構成する
強固なパイプライン

約 50%

パイプラインのうち、少なくとも
1つの適応症/いずれかの地域で
オーファンドラッグ（希少疾病
用医薬品）指定の可能性がある
ものが占めています。

低分子化合物

75%

- 生物学的製剤
- 細胞療法
- その他モダリティ
- ペプチド・オリゴヌクレオチド

多様なモダリティ
（治療手法）

患者さんの視点を活用し、適切な
標的を適切なモダリティとマッチ
させ、厳格な実験を行うことで、
変革をもたらす可能性のある治療を
加速させます。



200+

積極的なパートナーシップ

パイプラインの60%以上をパート
ナーシッププログラムが占め、
サイエンスとイノベーションの
最前線で研究開発を進めています。
スタートアップ企業、バイオテック
企業、アカデミア等、さまざまな
外部パートナーと連携し革新的な
アイデアを共有しています。



6,333^{*} 億円

2022年度
研究開発費

多数の品目の上市が見込まれる後期
開発プログラムに加え、開発初期に
ある重要なプログラムが複数進行し
ており、長期的かつ持続的な成長機
会をもたらします。

*2022年度実績を除き、2023年6月時点

**患者さんおよび
株主への価値を最大化**



2023年度第3四半期累計：

売上収益は、独占販売期間満了による大幅なマイナス影響を受けたもののCERベースで横ばい
財務ベース営業利益と当期利益は、ノン・コアの項目に関する要因が影響



2023年度第3四半期累計（4-12月） 連結業績（サマリー）

(億円、EPSを除く)	財務ベース	
	2023年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率 (%)
売上収益	32,129	+4.6%
営業利益	2,241	△44.2%
営業利益率	7.0%	△6.1pp
当期利益	1,471	△48.6%
EPS	94円	△48.9%

営業活動による キャッシュ・フロー	4,378	△36.0%
フリー・キャッシュ・フロー ³	363	△93.8%

CORE ¹		
2023年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率 (%)	CER ² ベース 増減率 (%)
32,129	+4.6%	+0.0%
8,656	△9.3%	△12.7%
26.9%	△4.1pp	
6,436	△9.0%	△12.2%
412円	△9.7%	△12.9%

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資本における期ずれ影響およびVyvanseの独占販売期間満了によるキャッシュ・フローの減少を反映
- フリー・キャッシュ・フローは、TAK-279の取得およびFRUZAQLA（fruquintinib）の導入を含む無形資産の取得による支出2,855億円を反映

1. Core財務指標の定義は当社ホームページに掲載している2023年度第3四半期決算発表におけるプレゼンテーション資料のA-1ページ、調整表はA-7、A-9ページをご参照下さい。
2. Constant Exchange Rate：恒常為替レート。定義は当社ホームページに掲載している2023年度第3四半期決算発表におけるプレゼンテーション資料のA-1ページをご参照下さい。
3. 定義は当社ホームページに掲載している2023年度第3四半期決算発表におけるプレゼンテーション資料のA-1ページ、調整表はA-11ページをご参照下さい。

成長製品・新製品の売上収益は+12.7%成長（CERベース） 売上収益全体の43%を占める



2023年度
第3四半期累計
売上収益

	 消化器系疾患 対売上収益比：29% 対前年比：+4%	 希少疾患 対売上収益比：18% 対前年比：+3%	 血漿分画製剤 (PDT) 免疫疾患 対売上収益比：19% 対前年比：+16%	 オンコロジー 対売上収益比：11% 対前年比：△2%	 ニューロサイエンス (神経精神疾患) 対売上収益比：15% 対前年比：△6%	その他 対売上収益比：8% 対前年比：△28%
成長製品・新製品	 +7%  +18%	 +12%  +79%  新製品	   IMMUNOGLOBULIN +18%   ALBUMIN +7%	 +30%  +44%  新製品		 新製品
2023年度第3四半期累計売上収益 計13,847億円（98億米ドル ¹ ）、昨年度比増分 2,166億円（15億米ドル ¹ ）						
その他 主要製品	Takecab/Vocinti® Gattex/Revestive®	Advate® Adynovate/Adynovi® Vonvendi® Elapraxe® Vpriv® Replagal® (欧州、日本)	Glassia® Aralast®	Ninlaro® Iclusig® Adcetris® (北米を除く) Leuprorelin Zejula® (日本) Cabometyx® (日本) Vectibix® (日本)	Vyvanse® Trintellix® (米国、日本)	Azilva® (日本) Spikevax® (日本) Nuvaxovid® (日本)

全ての成長率は2023年度第3四半期累計のCERベースの対前年比を小数点以下で四捨五入したものです。定義は当社ホームページに掲載している2023年度第3四半期決算発表におけるプレゼンテーション資料のA-1ページをご参照下さい。

ENTYVIO Pen（皮下投与製剤）とQDENGGAの上市戦略に注力



ENTYVIO：米国における炎症性腸疾患（IBD）の市場シェアで第1位を維持



QDENGGA：流行国および渡航者用ワクチン市場で好調な立ち上がり

2023年11月に米国食品医薬品局（FDA）より2つの新規候補物質の承認を取得



治療歴を有する転移性大腸がん（mCRC）¹を対象に、バイオマーカーのステータスや過去の治療の種類にかかわらず使用可能な、ここ10年以上の間で初めて承認された分子標的治療薬



非常に希少な血液凝固障害である先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）に対する初めてかつ唯一の遺伝子組換えADAMTS13酵素補充療法

2024年2月1日時点

通期マネジメントガイダンスおよび業績予想に変更なし



- ・ マネジメントガイダンスには独占販売期間満了による大幅なマイナス影響、新型コロナウイルスワクチンの減収、長期的な競争力を確保するための研究開発およびデータ&テクノロジーへの投資を反映
- ・ Core営業利益は1兆円超えの見通し
- ・ 現在の為替水準が継続した場合は、売上収益およびCore営業利益が上振れる可能性

(億円、1株当たりの 数値を除く)	財務ベース		CORE		CORE増減率（CERベース）
	2023年度 予想	対前年度	2023年度 予想	対前年度	2023年度マネジメントガイダンス (2023年5月から変更なし)
売上収益	39,800	△1.2%	39,800	△1.2%	一桁台前半%の減少
営業利益	2,250	△54.1%	10,150	△14.6%	10%台前半の減少
EPS (円)	59円	△70.9%	447円	△19.9%	20%台前半の減少

フリー・キャッシュ・フロー	4,000 - 5,000
1株当たり年間配当金	188円

- ・ フリー・キャッシュ・フローの予想には、Nimbus社からのTAK-279の取得およびHutchmed社からのFRUZAQLA（fruquintinib）の導入に関連する支出を反映

2023年度業績予想の主な前提：

- ・ 為替の前提は、137円/米ドル、145円/ユーロを想定。為替感応度については、当社ホームページに掲載している2023年度第3四半期決算発表におけるプレゼンテーション資料のA-19ページをご参照下さい。

本スライドには国際会計基準に準拠しない財務指標が含まれます。定義および調整表は、当社ホームページに掲載している2023年度第3四半期決算発表におけるプレゼンテーション資料の参考資料をご参照ください。
2023年度の業績予想の詳細は当社ホームページに掲載している2023年度第3四半期決算発表におけるプレゼンテーション資料のA-17ページをご参照下さい。

2024年へと続くパイプラインモメンタム



2023年度第4四半期

TAK-721 – 好酸球性食道炎
承認（米国）

ICLUSIG – 1L Ph+ ALL¹
承認（米国）

承認可能性
臨床第3相試験 読み出し

2024年度上半期

ENTYVIO 皮下投与製剤 – クローン病
承認（米国）

Soticlestat – ドラベ症候群
臨床第3相試験 データ読み出し²

Soticlestat – レノックス・ガストー症候群
臨床第3相試験 データ読み出し²

乾癬

2つの臨床第3相試験 患者登録

クローン病

臨床第2b相試験 開始

**TAK-279
の開発**

乾癬

Deucravacitinibとの直接比較試験 開始

乾癬性関節炎

2つの臨床第3相試験 開始

潰瘍性大腸炎

臨床第2b相試験 開始

TAK-861 – ナルコレプシートタイプ1
臨床第3相試験への進展を判断

TAK-861 –ナルコレプシートタイプ2
臨床第3相試験への進展を判断

主な中期開発
プログラムの転換点

Mezagitamab – 免疫性血小板減少性紫斑病
臨床第3相試験への進展を判断

Mezagitamab – IgA腎症
臨床第3相試験への進展を判断

TAK-360 – 次世代オレキシン
臨床第1相試験 開始

1. Ph+ ALL : フィラデルフィア染色体陽性ヒト急性リンパ性白血病。ICLUSIGの1L Ph+ ALLはFDAの優先審査対象。
2. Soticlestatの臨床第3相試験ではDSおよびLGSの患者登録を完了。当社は両試験の適正な評価を確保するため臨床第3相試験の結果を同時に公表する予定。

成長と株主還元へのコミットメント



短期
(2024-2025年度)

中期
(2026年度-2030年代初頭)

長期
(2030年代以降)

売上収益・利益・利益率の成長へ回帰

成長製品・新製品の持続的な拡大

革新的な後期開発パイプラインのさらなる上市

ENTYVIOのバイオシミラーが上市されるまで独占販売期間満了の影響は限定的

約30の新規候補物質からなる開発パイプラインを含めた、強固な研究開発戦略のさらなる貢献

- Core営業利益率30%台前半から半ばへの回復
- データ、デジタル、テクノロジーの活用による生産性の向上
- 候補物質にターゲットを絞った事業開発を継続し、パイプラインを強化
- 毎年の年間配当金を増額または維持する累進的な配当方針

レバレッジ低下目標の達成を反映した資本配分に関する基本方針



当社は、革新的な医薬品を創出し続けるという「私たちが目指す未来」（ビジョン）に基づき、堅実な投資適格格付を維持することを重視しながら、患者さんと株主価値を最大化するよう資本を配分してまいります。



成長ドライバーへの投資

- パイプライン拡充のための社内外における機会に対する戦略的投資
- 新製品の上市
- 血漿分画製剤事業

株主還元

- 毎年の年間配当金を増額または維持する累進的な配当方針
- 自社株式の取得は適切な場合に取り組む

2023年度：
15期ぶりに
1株当たり年間
配当金の増配を予定



188円

(※) 2022年度 1株当たり年間配当金：**180円**



当社の強固な財務基盤と長期的な成長
見通しに対する自信の表れ



自動配信メールの登録フォーム

配信を希望するEメールアドレスを入力して、「登録する」をクリックしてください。

『投資家向けメールマガジンの配信登録ページ』はこちら。
<https://www.takeda.com/jp/investors/newsletter/>



アンケート ご協力のお願い

今後の個人投資家向け会社説明会の開催にあたって活用させていただきたく、より多くの皆さまに簡単なアンケートへのご協力をお願い申し上げます。皆さまの貴重なご意見・ご要望をお聞かせください。

右二次元コードからアクセス
の上、ご回答ください。



「世界に尽くせ、タケダ。」



創業240周年を契機に
立ち上げた、
企業ブランディング
キャンペーンサイト
「世界に尽くせ、タケダ。
革新的に。誠実に。」
は、こちら。

<https://www.240.takeda.com/>



革
新
的
に
。
誠
実
に
。
世
界
に
尽
く
せ
。
タ
ケ
ダ
。

世
界
に
尽
く
せ
。
タ
ケ
ダ
。
？
っ
て
ナ
ン
ダ

CONCEPTを見る >

革新的なサイエンスってナンダ？

革新的な働き方ってナンダ？

環境のための活動ってナンダ？

独自の経営論ってナンダ？

タケダのCSRってナンダ？

ALL



ご清聴ありがとうございました



Better Health, Brighter Future